

令和6年産水稻の出穂状況について（8月8日現在）

1 出穂状況等（概況及び今後の管理）

- 8月8日現在、水稻作付見込面積の98.2%の水田が出穂期^{※1}に達している。県全体の穂揃期^{※2}は、8月5日で平年より4日早い。
- 登熟期間の高温が予想されているため、水を切らさず土壌を湿った状態に保つ「^{ほうすい}飽水管理^{※3}」を徹底する。特に、フェーン現象による高温と乾燥の発生が見込まれるときは、速やかにかん水し、水を切らさないようにする。また、早期落水は玄米品質低下の原因となることから、出穂から30日程度は土壌の湿潤状態を保ち、落水はそれ以降とする。
- 斑点米カメムシ類は平年より多く発生している。「穂揃期」と「その7～10日後」の2回防除を基本として適期防除を徹底する。

※1 出穂期（しゅつすいき）：ほ場内の50%以上が出穂に達した時期
 ※2 県全体の穂揃期（ほぞろいき）：水稻作付見込面積の95%以上が出穂期に達した時期
 ※3 飽水管理（ほうすいかんり）：田面が浸るくらいに入水し、水田にある足跡に水がなくなる頃を目安に入水する水管理方法。必要とする水の量が少なく、出穂後高温による玄米の品質低下を抑制する効果がある。

2 出穂状況（具体的データ）

（1）県全体

区分	出穂始期 (5%)	出穂期 (50%)	穂揃期 (95%)
本年	7月24日	7月29日	8月5日
平年	7月28日	8月1日	8月9日
平年差	4日早い	3日早い	4日早い
(参考)前年	7月26日	7月30日	8月5日

※平年値は平成26～令和5年の10ヶ年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8ヶ年の平均値。

（2）地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付 見込面積 (ha)	8月8日現在出穂状況		出穂(月日)			(参考)平年値		
		出穂面積 (ha)	進行率 (%)	出穂 始期	出穂期	穂揃期	出穂 始期	出穂期	穂揃期
大河原	6,014	5,892	98.0	7/20	7/26	8/7	7/27	7/31	8/9
仙台	10,381	10,204	98.3	7/22	7/28	8/4	7/28	8/1	8/8
大崎	15,997	15,932	99.6	7/24	7/28	8/4	7/28	8/1	8/8
栗原	8,529	8,262	96.9	7/27	7/31	8/7	7/29	8/1	8/10
登米	8,761	8,627	98.5	7/26	7/30	8/5	7/29	8/1	8/7
石巻	6,470	6,224	96.2	7/25	7/29	8/5	7/29	8/1	8/9
気仙沼	612	603	98.5	7/28	8/1	8/7	8/1	8/4	8/10
県計	56,763	55,743	98.2	7/24	7/29	8/5	7/28	8/1	8/9

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、進行率がそれぞれ5%、50%、95%に達した時期をいう。
 ※作付見込面積は令和5年産の水田における作付状況(令和5年9月15日時点)の主食用米面積を用いた。
 ※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。
 ※平年値は平成26～令和5年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値。

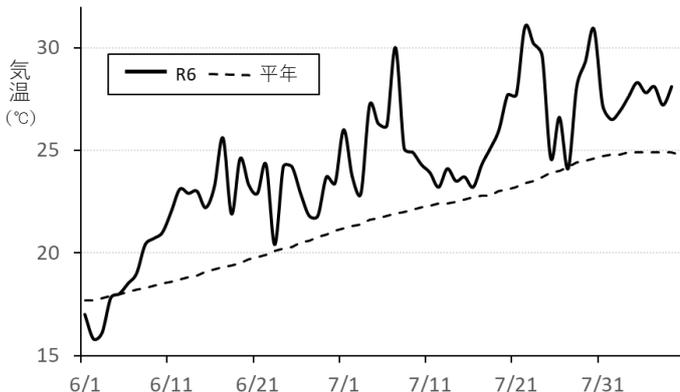
（3）地帯区分別

地帯区分	水稻作付 見込面積 (ha)	8月8日現在出穂状況	
		出穂面積 (ha)	進行率 (%)
山間高冷	830	804	96.9
西部丘陵	4,775	4,695	98.3
北部平坦	37,801	37,147	98.3
南部平坦	4,877	4,801	98.4
三陸沿岸	1,190	1,157	97.2
仙台湾沿岸	7,290	7,140	97.9
県計	56,763	55,743	98.2

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

3 気象経過（仙台アメダス）

平均気温の推移（仙台アメダス）



時期	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	平年差	平年比	平年差	平年比	平年比	平年比
6月	21.5	2.3	93.0	65%	198.7	138%
7月	26.1	3.2	130.0	73%	116.3	92%
8/1～8	27.6	2.6	1.0	3%	60.9	112%

※刈取状況は9月中旬頃からの発表を予定しています。